

みらいをつくる

発行：泉佐野市教育委員会
教育部【2024年1月22日】

「泉佐野市子どもの主張コンクール」について

近年、様々な要因から急速に変化する社会において、子どもたちがその変化に積極的に向き合い、他者と協働して課題を解決していくことや、様々な情報を見極め知識の概念的な理解を実現し情報を再構成するなどして新たな価値につなげていくこと、複雑な状況変化の中で目的を再構築することができるようにすることが求められています。

泉佐野市教育委員会では、これからの時代を担う子どもたちが、思考力や表現力、提案力を高めるとともに、仲間と協力して計画を実行する力を育むことをねらいとして、令和元年度より、市立小中学校に在籍する児童・生徒を対象に、「泉佐野市子どもの主張コンクール」を実施しています。内容は、まず、学校や社会で感じている疑問や課題をテーマとして設定します。次に、その解決に向けて、総合的な学習の時間をはじめ、各教科、領域を問わず、授業を相互に関連付け、一人一台端末を積極的に活用しながら、企画・提案を行い、具体的なプランを立てます。その後、プランに基づいて仲間と協力して実行します。実行後は、進み具合をふりかえり点検し、再チャレンジするということを繰り返し、最後には、実際に取り組んだ内容についてまとめ、次のステップを考えるというものです。

今年度は、以下の学校が最優秀賞に選ばれ、1月20日の教育委員会表彰式で表彰されました。



【小学校部門】北中小学校 「チャレンジ水族館」

【中学校部門】長南中学校 「わたしたちのSDGs～これからもずっと、みんなで～」

「最優秀賞（長南中学校）のとりくみ紹介」

- (1) SDGsの各ゴールについて自分たちにできることを考える。
- (2) 具体的な計画を立案する。⇒とりくみを実行する。
 - ペットボトルキャップ・コンタクトレンズケースの回収
⇒玄関に回収ボックスを設置し、全校集会でチラシを配って呼びかける
 - 牛乳パックでいすづくり
⇒支援学級、図書室、地域のこども園への贈呈
 - 女子トイレに生理用ナプキンの常設
⇒ナプキンボックスの作製、全校集会で趣旨説明
 - 「アンネのバラ」で街づくり
⇒バラの挿し木、地域や市役所、他校への植樹



- (3) とりくみをふりかえり、他にできることを考える。

「ビリョクだけどもリョクじゃない」「1人でも多くの人とやっていくことが大きな力となる」

これからの未来を生きる子どもたちは、生涯にわたる学びの基盤となる資質・能力を伸ばし発揮できるようになることが大切です。今後も総合的な学習の時間等を活かしながら教科横断的な学習の機会が増え、学びが深まることに期待します。

GIGAスクール2023「ジュニアICTリーダー」について

【ジュニアICTリーダープログラム】

「Society5.0時代」が到来する中で、将来、持続可能な社会の創り手となる市内小中学生の情報活用能力やメディアリテラシーを育むことを目的として、泉佐野市教育委員会では今年度より「ジュニアICTリーダー事業」をスタートしています。

9月10日は、本市がパートナー自治体プログラムに参画しているGoogleより認定トレーナーを講師としてお招きし「ジュニアICTリーダープログラム」を実施しました。受講希望のあった小学校5・6年生25名が午前中、中学校1・2年生8名が午後に泉佐野市役所会議室に集まり、持参した学校で使っているChromebookを活用して3時間のプログラムを受講しました。



前半の講師先生から説明のあった「スライドの作り方」「サイトの安全性」「著作権」「プレゼンテーションの工夫」等を参考に、後半では事前に作成してきた自己紹介スライドを修正し、最後は参加者が1人ずつスライドを使ってプレゼンテーションを行いました。文字の大きさや色、画像の大きさや配置場所、声の抑揚等の工夫が凝らされていて、緊張しながらも一生懸命に自分の思いを伝えようとするプレゼンテーションの後には、大きな拍手が送られていました。



受講者には、後日「公式認定書」「公式オリジナルピンバッジ」「Googleグッズ(Tシャツ)」が学校を通して渡されました。

ジュニアICTリーダーに認定されたみなさんの今後のICTの積極的な活用と、ますますの活躍を応援しています。

参加いただいた保護者の方々もお疲れ様でした。

【ジュニアICTリーダーサミット】

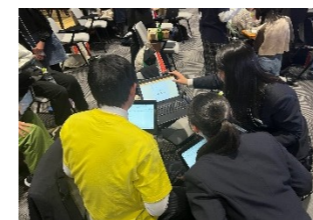
上記ジュニアICTリーダープログラムは、今年度は本市を含む全国の16自治体に広がり、延べ1000人以上のリーダーが誕生しています。

この度、全国からジュニアICTリーダーが集うイベント「ジュニアICTリーダーサミット」がGoogle主催で12月27日に開催されました。

泉佐野市からは新池中学校の3名のジュニアICTリーダーがサミットに参加しました。渋谷にあるGoogle東京オフィスでは、サミット前にオフィスツアーやランチタイムがあり、参加者は初めて入るフロアのデザインや施設設備、35階からの眺めを堪能していました。



サミットは、連想ゲームのアイスブレイクから始まり、謎解き対決のほか、各自治体のプレゼンテーションやクイズ等、ジュニアICTリーダープログラムで学んだ知識とチームプレイが必要となる内容で、会場が大いに盛り上がりました。また、休憩時には他の自治体の子どもたちやGoogleスタッフと名刺交換をし、交流を深めていました。



会の最後には「よかったプレゼンテーション」の発表があり、泉佐野市が見事、ベスト1に選ばれました。

早朝の出発から、遅い時間の帰宅となりましたが、貴重な体験をすることができました。参加者の感想の一部を紹介します。

- ・たくさんの市町村の発表を聞くことができ、それぞれの街のことを知れたのはもちろんのこと、グループで色のあるプレゼンの仕方や工夫を見ることができたので、これからの自分の発表にも活かしていきたいと思います。
- ・もしこのようなGoogle社に行く機会がなければ、きっと私は一生素晴らしい仕事環境や、すごくハイレベルな社員の皆さんのことを知らなかったと思うので、本当に素晴らしい経験をさせていただくことができました。
- ・このプロジェクトで学んだことをこれからはICTリーダーとして自分の学校、地域に広めていきたいです。この体験を将来に繋げていけるようJILとしての自覚を持って頑張ります！！